

経営比較分析表（平成28年度決算）

神奈川県 山北町

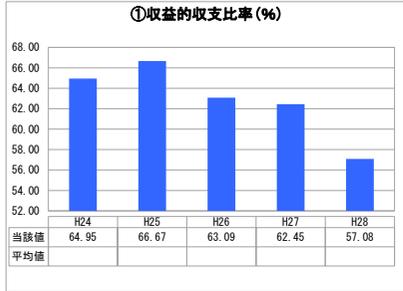
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cc2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ ³ 当たり家産料金(円)
-	該当数値なし	81.12	75.40	1,188

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
10,842	224.61	48.27
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
8,731	3.13	2,789.46

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成28年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



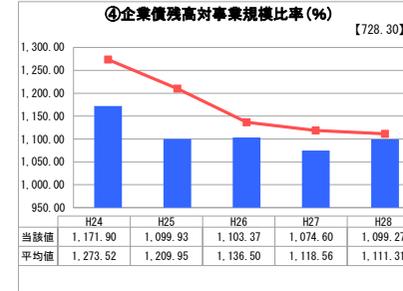
「単年度の収支」



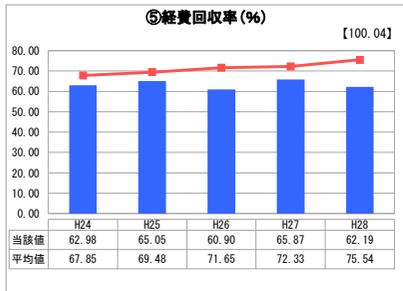
「累積欠損」



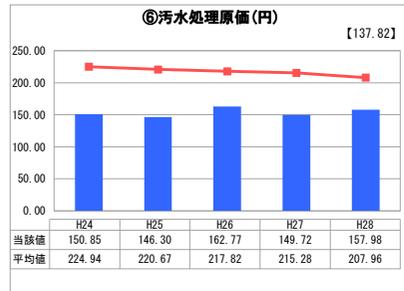
「支払能力」



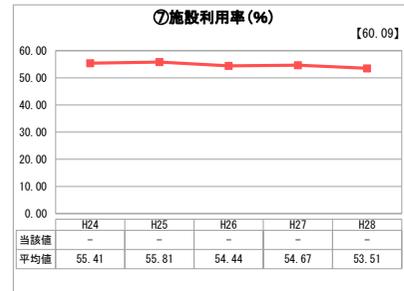
「債務残高」



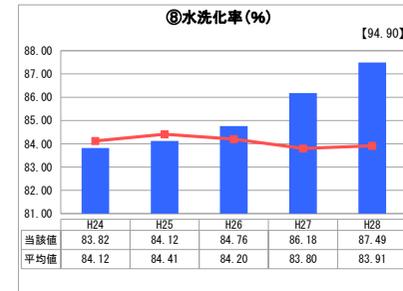
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析概

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率が前年度62.45%と比較し、57.08%と下回る経営の悪化により、経営改善に向けた取り組みが必要です。単年度収支が不足していることから、供用開始から一度も値上げを行って来ていませんでしたが、収入増加に向け段階的に値上げを行う予定です。

また、経費回収率についても約62%と、汚水処理に係る経費を使用料だけでは賅うことが出来なため、一般会計繰入金等で補っています。水洗化率については、類似団体の平均値よりは上回っていますが、収入増加のためにも水洗化率のさらなる向上に向け、啓発等を継続していきます。

2. 老朽化の状況について

当町の下水道汚水管渠の布設は、一部地域を除いて平成元年から行っています。現在耐用年数を迎えている管渠はありませんが、平成元年より前に布設された管渠が10年後には耐用年数を迎えるため、今後ストックマネジメント計画を策定し、既存の管渠や施設の適正な維持管理や点検及び老朽化した管渠の更新を進められるよう検討していきます。

全体総括

収益的収支比率、経費回収率ともに100%に達しておらず、より厳しい経営状況になることが考えられます。また、一定時期に集中して布設を行ってきたため、管渠の更新時期が重なり今後更新費用と維持管理費用の増大が見込まれるので、効率的な更新と維持管理を行えるよう、ストックマネジメント計画を策定します。そして下水道事業の健全な運営のために、平成30年度には値上げを予定しており、また審議会も継続して行っていく予定です。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。